

## 兵臨技精度管理調査における改善サポート体制の実施効果

◎狩野 春艶<sup>1)</sup>、佐藤 伊都子<sup>2)</sup>、中町 祐司<sup>3)</sup>、千田 園子<sup>4)</sup>、内川 昭文<sup>5)</sup>、兵臨技学術研究班<sup>6)</sup>、真田 浩一<sup>7)</sup>  
兵庫医科大学病院<sup>1)</sup>、国立大学法人 神戸大学医学部附属病院<sup>2)</sup>、神戸大学医学部附属地域医療活性センター<sup>3)</sup>、兵庫県立こども病院<sup>4)</sup>、一般社団法人 姫路市医師会<sup>5)</sup>、兵庫県臨床検査技師会<sup>6)</sup>、県立姫路循環器病センター<sup>7)</sup>

### 【はじめに】

兵庫県臨床検査技師会は兵庫県医師会と兵庫県による共同事業として毎年11月に精度管理調査を実施している。施設規模を問わず参加しやすくするため実施コースを細分化するとともに、できる限りマトリックス効果を生じさせないため実試料（プール血清や新鮮血）を用いている。臨床上支障をきたす結果を評価Cとし、検査方法の改善に対するサポートを実施している。令和2年度より全分野において改善サポートを開始したので、その体制と効果について報告する。

### 【改善サポート手順】

- ① 精度管理の正答速報をホームページに掲載
- ② 改善サポート対象となった施設に対して、「兵庫県精度管理調査結果及び改善のお願い」、「実施状況確認及び改善報告書」を送付し、精度管理実施時の状況、C評価となった原因究明と改善の取組を各施設で考察し、それを元に学術研究班が改善のサポートを行っている。また、メーカーとも改善点を協議し、必要であ

れば協力を得て改善のサポートを実施している。

- ③ 各学術研究班で精度管理報告会を開催し、設問の解説、C評価の原因を説明している。

### 【効果】

令和2年度は138施設が参加し総検査結果16,658件のうちサポート対象件数は73件、是正完了が71件、無回答が同一施設2件であった。原因究明、是正対策を検討した結果、測定手順の見直し、分析機器のトラブルの発見につながった施設もあり、是正の効果が認められた。

### 【まとめ】

各施設が精度管理実施時の内部精度管理を振り返り、C評価の原因究明、是正対策を検討することで、各施設のPDCAサイクルが活性化し、施設の品質向上に繋がっていると思われる。令和3年度も各学術研究班の協力を得て同様のサポートを行う予定であり、学会発表の際にはその成果についても報告する。

連絡先 0798-45-6304 兵庫医科大学病院